

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価 担当	局名	都市整備局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	交通政策課
	施策	離島の振興		電話番号	087-839-2138
	基本事業	航路の確保及び利便性向上		事業実施主体	市
	事務事業	離島航路振興事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	女木島及び男木島に観光客を呼び込み定着させ、ひいては、航路の活性化を図るため、世界に向けた瀬戸内の魅力の発信、交流人口の増加、地域振興・活性化に向けた取組などを行う。 ・男木～高松航路改善計画の実施 ・航路事業者、自治体及び地域等の共同により、地域総力戦による「島おこし」に取り組む。				
	①女木・男木島航路に係る利用促進策 ②離島航路確保維持改善協議会の開催				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

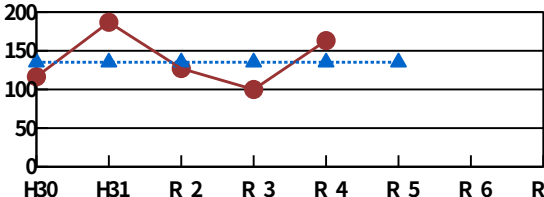
【事業の目的】

対象（何を）	女木・男木島航路利用者
意図（どのような状態にしたいか）	航路の活性化により利用促進に努める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 施策の実施回数	回	1	1	1	1	1
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5	
	女木・男木島航路利用者比率（基準年：平成 2 1 年度）	%	目標値	135.18	135.18	135.18	135.18	135.18	
			実績値	127.06	99.95	163.12			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 120.7%	
	令和 4 年度の女木・男木島航路利用者は 2 9 2、0 8 5. 0 人であり、平成 2 1 年度の利用者 1 7 9、0 6 3. 5 人（小人は 0. 5 人で換算）と比べて約 1. 6 3 倍となっている。瀬戸芸の影響もあり、目標値を大幅に超える実績となった。	(目標達成度)							35点
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)	
		(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕	11,602	13,959	12,920	13,911
（事業費）	〔千円〕	7,861	8,221	8,205	8,298
（職員人件費）	〔千円〕	3,741	5,738	4,715	5,613

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
瀬戸内国際芸術祭の開催年度ということもあり、利用者は目標値より大幅に増加したが、住民の移動手段の確保にとどまらず、交流・定住人口の拡大に向けて、事業を継続することが必要である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
離島航路の利用促進は、「離島振興」及び「地域間交流の推進」に資するため、離島航路の利用促進施策における事業を継続する。			